

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2019 **4**
平成31年4月24日発行
No.104

やまのべ議会だより
2019年4月号 VOL.104



- 3月定例会 平成31年度の主な重点事業 2
- 予算特別委員会 Q&A 4
- 町政のここはどうする? 一般質問 8
- 新しい町への挑戦 議会活動報告 16

町ホームページで
議会中継を
発信中!!

発行/山形県山辺町議会
編集/広報常任委員会
Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118

●発行/山形県山辺町議会 ●編集/広報常任委員会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷/藤庄印刷

第9回 議会報告会開催のお知らせ

未来を話す会

日時: 6月1日(土) 夜7時~
会場: 中央公民館 (2F和室)

まちづくりは、ちょっとしたアイデアから生まれます!

山辺町の未来について、あなたの思いやアイデアを気軽に話してみませんか。



表紙の説明



3月2日、春が来たような暖かい陽ざしの中「まちなか雛ミュージアム」のオープニングセレモニーが華やかに開催されました。
山辺太鼓の勇壮な演奏、懐かしい風情の山辺ちんどん屋、そして山辺の女性有志手づくりの衣装を着た可愛い子ども人間雛たちの登場や、やまのべ少年少女合唱団の手話を交えた合唱には、大きな拍手が送られました。
町の宝である子どもたちが活躍できる場所、主役となる行事により、子どもたちの心ふるさとの良き思い出として残ってくれたらと思います。

編集後記

新たな旅立ち、門出の春を迎え、子どもたちの成長が眩しい季節となりました。「議会だより」も今号が平成最後の発行となります。今後わかりやすく、読みやすい紙面を目指していきますので、ご意見、ご感想をぜひお近くの議員にお寄せください。
5月より新しい元号のもと、明るい世の中になるとを心から願います。

遠藤 真由美 記

- 発行責任者
議長 齋藤 邦彦
- 広報常任委員会
委員長 遠藤 真由美
副委員長 本田 四志子
委員 齊藤 昭彦
委員 神保 裕
委員 伊藤 恭子

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。
<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



91億3392万円 **可決**
子育て支援事業の充実

平成31年度予算総額
将来の町の担い手、

なお厳しい予算
一般会計予算
53億172万円
前年比 1億4760万円
2.9%の増

認定こども園施設整備事業



子どもたちの笑顔のために

2億2729万円

やまのベココミュニティバス
車両購入費



既存の1台を更新

583万円

定例会のあらまし

第1回定例会が、3月1日から3月13日までの13日間の会期で開催され、7人の議員が一般質問を行いました。
町長より31年度一般会計並びに特別会計について予算の基本的な方針と概要の説明を受け、直ちに予算特別委員会に付託し、最終日に特別委員長報告により全会一致で可決しました。また教育委員会任命の同意や条例の改正、補正予算並びに玉虫沼農村公園指定管理者の指定など全議案を全会一致で可決しました。

今年度の
主な
重点事業

町中央公園および
体育施設指定管理委託費



スポーツ拠点施設を企業に委託
(プール施設運営期間を除く)

2700万円

義務的経費（平成30年度比較）

（単位：千円、%）

	平成31年度予算額	平成30年度予算額	前年度比
人件費（職員給与など）	1,038,792	1,001,639	3.7
扶助費（介護給付費など）	646,773	643,227	0.6
公債費（借金の返済など）	679,078	703,997	△3.5

法令などで義務付けられ、任意に縮減できない性質の義務的経費が増え続けており、平成31年度も厳しい財政状況などにより、平成30年度に引き続き一般職の給与を削減するなど歳入歳出とも精査、検証をしながら徹底した事業の見直しが図られました。

予算特別委員長報告

- 大変厳しい財政状況の中で、行財政のなお一層の立て直しが喫緊の課題です。特に次のことに対し意見を付しました。
- 増え続ける空き家対策の積極的な推進
 - 地域コミュニティと防災活動の推進
 - 移住定住希望者への情報提供と適切な支援
 - シルバー人材センターなどの就労の場の確保
 - 滞納など収納対策の促進
 - コミュニティバスの有効な利用拡大
 - 入浴者減対策として山辺温泉の利用時間などの拡大
 - 婚活支援に町独自の事業の強化
 - 隣接市町斎場の便宜利用
 - イノシシの一斉駆除の強化
 - インフラ整備の促進
 - 公民館の地域運営委託の充実推進

平成31年度 会計別予算明細

会計名	平成31年度予算額	平成30年度予算額	前年度比
一般会計	53億172万円	51億5411万円	2.9
国民健康保険特別会計	14億9030万円	14億6099万円	2.0
簡易水道等特別会計	3376万円	2390万円	41.3
公共下水道事業特別会計	5億315万円	5億851万円	△1.1
介護保険特別会計	16億4685万円	15億7019万円	4.9
後期高齢者医療特別会計	1億5811万円	1億5523万円	1.9
計	91億3392万円	88億7295万円	2.9

限られた予算を有効に… 予算特別委員会

チェック Q&A

平成31年度予算案審議に対し、議長を除く全議員で予算特別委員会（委員長 武田啓一郎、副委員長 神保稔）を3月1日に設置しました。第1、第2分科会で4日間の審議を行い、3月13日に委員長から総括の報告を受け、本会議において全会一致で採択されました。

総務文教 第1分科会 総務課・防災対策課・政策推進課・税務課 会計課・教育委員会教育課・議会事務局

Q ゴルフ場利用税が約20%ほど減っているが、ゴルフ人口が減っているのか。

A 県では右肩下がりの見通しである。（総務課）

A 購入時の利用目的があるので、今後の利用法を考えたいく。（総務課）

A 町の行革の一つとして、庁舎清掃は週5から週3に減。高齢者の就労確保は今後も考えていく。（総務課）

Q 役場東側の公有地公売についてはどう考えるか。

A 行革の推進に伴って、年々シ

Q 近江・三河尻地域の電柱に、洪水・内水の浸水深の情報を書いた「まるごとまちごとハザードマップ」（国土交通省）を取り付けるが、大門地域には取り付けないのか。



取り付けられた浸水深電柱標記（近江4丁目児童遊園）

A 国のモデル事業で両地区の自主防災組織などと協力して掲示板を設置するもので、今後は他地区の自主防災組織にも協力などを依頼する。（防災対策課）

A 第一段として交通災害共済の加入を、役場や支所へ個人で申し込むこととし、負担を減らしていく。（政策推進課）

A 山辺中学校の設計時に想定された光熱水費と、現状の金額を照らし合わせてどうなのか。



中学校部活動の様子

厚生産業 第2分科会 町民生活課・保健福祉課・産業課 建設課・農業委員会

Q 火葬場の予約状況は。広域的に考える時期ではないか。

A 予約が重なることもあり、今後は広域的な視野で検討していく。（町民生活課）

Q 半郷の清掃工場解体予定はいつか。

A 平成31年度より解体予定である。（町民生活課）

Q 緊急通報システムの利用状況と今後の推進は。

A 現在の利用者は19名である。さらに民生委員とケアマネジャーとの連携により普及に努める。（保健福祉課）

Q 結婚しても、子どもが出来ず悩んでいる方の相談窓口は。

A 保健福祉課保健指導係で相談を受け付けている。不妊治療の助成申請は平成30年度は3件で、男性も同じく対象としている。（保健福祉課）



今年は暖冬により雪が少なかったが…

Q 三森山放牧場の今後の管理計画は。

A 現在、7世帯の入居があるが、老朽化により募集し



耐用年数により老朽化が懸念される芦沢町営アパート

A 山形森林管理署と協議中であるが、返還の場合は、原状回復となる。（産業課）

Q 除排雪の状況は。いない。（建設課）

A 昨年度は当初想定したより積雪量が少なかったため、補償料の支払いが生ずることになる。（建設課）

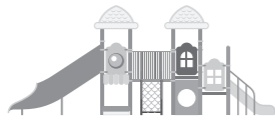
予算特別委員会

新規 & 継続事業

NEW
▷町中央公園および体育施設
指定管理委託

株式会社パスラボを指定管理者に

2700万円



NEW
▷安達峰一郎博士顕彰会
生誕 150 周年記念事業

博士の功績をたたえる

70万円



▷障がい児通所給付事業

一人ひとりの充実した生活を育む

4150万円



NEW
▷やまのベココミュニティバス
車両購入

10年を経過した1台を更新

583万円



▷子育て支援医療費の給付

中学3年生までの医療費を無料化

6194万円



▷認定こども園の施設整備

子育て環境の充実を目指して

2億2729万円



▷子育て世帯・低所得者向け
プレミアム付き商品券事業

消費税率引き上げの影響緩和と
町内の消費を喚起する

587万円



▷有害鳥獣駆除活動者拡大支援事業

農作物への被害防止と対策実施
隊への活動支援

121万円



もっと

町を良くするために!

議案審議

条例改正

特別職と一般職員給与の一部改正

厳しい財政状況及び社会経済情勢などを考慮し、給与が減額されます。(平成31年4月1日から平成32年3月31日までに限る)

町長 ↓ 30%
副町長 ↓ 10%
教育長 ↓ 8%
一般職 ↓ 8%

課長級 ↓ 4・5%
課長補佐級から係長級 ↓ 4%
主査級から主事級 ↓ 2%

一般職員の給与の一部改正

人事院及び山形県人事委員会の勧告により条例を改正します。

町立小中学校設置条例の一部改正

大寺小学校が平成31年4月1日より山辺小学校に編入統合することに伴い、条例を改正します。

町民農園設置条例の一部改正

町民農園の使用料を「年額100円/m²」から「年額110円/m²」に見直すため、条例を改正します。

平成30年度一般会計 補正予算

870万円を増額し、

総額54億7871万円に

主な補正予算の内容
財政調整基金積立金

本庁舎管理事業	1億1000万円の増
公用車維持管理事業	381万円の減
ふるさと応援事業	200万円の減
国保特別会計繰出事業	1646万円の増
障がい者総合支援事業	1693万円の減
障がい児通所支援事業	280万円の増
担い手育成支援事業	240万円の増
住宅建設等支援事業	265万円の減
	348万円の減



活用されたい町民農園(根拠地内)

特別会計補正予算

会計名	予算増減	総額
国民健康保険特別会計	事業実績見込みにより 1120万円減額	14億8283万円
公共下水道事業特別会計	事業実績見込みにより 歳入歳出の調整	5億471万円
介護保険特別会計	事業実績見込みにより 316万円増額	16億112万円
後期高齢者医療特別会計	事業実績見込みにより 55万円減額	1億6925万円

人事について

教育委員任命の同意
新委員として鏡京子氏(近江4)の任命に同意
最上川水道企業団議会議員の選挙
鍋倉竹志、武田啓一郎、渡邊裕二の3氏を再選

観光振興計画をいつ策定するのか

(町長) 現在の事業を深化させ2年をめどに、多くの人々が共感できる計画策定を目指す



質問席

樋口 和男

質問 現状の観光行政は何なのか。

回答 他産業に比べて観光分野の産業力が弱く、豊富にある観光資源を確立できていないこと。また、主役の観光事業者がいなことが問題である。課題としては、観光

質問 これまで、観光振興計画をつくったことがあるのか。

回答 農業や製造業などが町の主要産業として、町産業の発展を牽引してきたことから、観光振興計画の策定を行わず、山辺町総合計画に基づく取り組みにより観光産業の推進に努めてきた。

質問 「食」と「スポーツ」、「健康」と「観光」の4つの資源を組み合わせた「山辺版2S・2K滞在交流型」観光プランを提唱したい。

「食」とは現在ある

資源の磨き上げを行う観光事業者の育成支援があげられる。



狐一巡り街道滝の平付近から山形市を望む



● 観光…じっくり楽しむこと。

「観光」とは暮らしぶりをじっくり楽しむこと。

「例」

- 山辺温泉と保健福祉センターを舞台に体験コーナーを企画する
- 山辺温泉と保健福祉センターを舞台に体験コーナーを企画する

● 観光…じっくり楽しむこと。

「例」

- 山辺健康ラーメン
- 安達峰一郎博士「出世せんべい」
- 「健康」とは食とスポーツの関わりが強い。

● 光：暮らしぶりを現在ある観光スポットの整備と新名勝地の整備。

「例」

- 旧山野辺陣屋玄関の利活用
- 畑谷城址空堀の整備
- 安達峰一郎博士幼少期の立ち像の設置
- 玉虫姫立ち像の設置
- 水の駅構想と雪椿公園の整備
- さくらんぼ神社の整備



斬新な発想と挑戦する気概が待たれる観光資源

回答 町観光業の中枢を担うプレイヤーが、地域DMO設立についても中心的役割を担うものと考えている。

まずは、観光地域としての魅力向上と人材の育成支援に努め、総合産業として町の観光産業の活性化に取り組んでいく。

※ DMO … 観光地域づくりの舵取り役を担う法人



町政の一般質問 ここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

傍聴しませんか 次回の定例会は6月です。お気軽にお越しください。電話 023-667-1117(議会事務局)

3月の定例議会では、7人の議員が一般質問を行いました。

- 樋口 和男** **観光振興** 観光振興計画をいつ策定するのか
- 渡邊 裕二** **バス停除雪** 冬季間の交通弱者対策は
- 遠藤真由美** **情報発信** 町内外に向けて情報発信の強化を
- 渡辺 知広** **農業・環境** ①小規模農家の生き残りは可能なのか
②除草剤グリホサートの危険性
- 伊藤 恭子** **環境問題** STOP 温暖化の方策は2030～2050年まで見据えて
- 安達 春彦** **総合計画** 山辺町の10年後のビジョンとシナリオへの取り組みは
- 武田啓一郎** **地域活動** ブロック協議会活動の評価と期待は『互近助』のパワー育成と集約を

町ホームページで議会中継を発信中!!

※一般質問は一問一答方式ですが、誌面の関係で主な質問と答弁を掲載しています。

町内外に向けて 情報発信の強化を

(町長) 今後も、適切なタイミングで効果的な情報発信に取り組んでいく



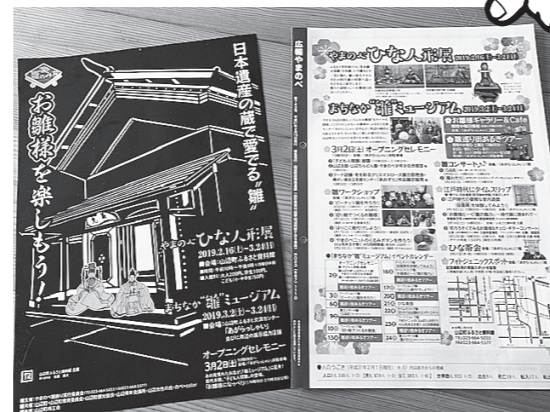
遠藤真由美

質問 町民が町中の情報やホームページ、チラシなどであるが、最近イベントチラシなどの全戸配布を制限している。この方針の経緯は。

答弁 小さな節約とともに事業効果が高まると判断するものや、協力が得られるものはすぐに実行するようになっている。チラシの全戸配布削減の経緯については、行財政改革の取り組みの一つとして、シルバー人材センターへ業務委託している広報紙へ折り込むチラシ数を恒常的に削減し、その作業時間に相当する委託料削減や、作業者の負担軽減などが目的である。

質問 今後チラシの全戸配布は全て廃止するの。また入れるとすればどんな条件か。

答弁 分量的に広報紙への記事掲載では対応できないものもあり、全て廃止するこ



チラシ裏の内容が載った町報の裏表紙(右) せめて町のイベントチラシは全戸配布に

とは難しいが可能な限り減らしていく。折り込み可能となる条件は、全戸配布するものであること、町主催か共催、後援に係るもの、責任を所管する町担当課が明確であること、などをふまえ、個別に検討し、決定していく。

また広報紙の裏表紙にチラシと同じ体裁で、必要に応じてカラーでの掲載も可能なので相談して欲しい。



ここに来ればわかる「情報ボード」の設置を(山形市総合福祉センター)

質問 今は何を調べるのもインターネットである。山辺町がいろいろなワードにヒットするためにはこのまめな発信、更新が必要であるが、各課でホームページを編集できる職員は決まっているのか。

答弁 基本的に担当課の全職員が対応できるよう研修している。情報は最終的に各課長の決裁をもって随時掲載するようにしている。

質問 広報紙以外にも情報が分かる場所があれば良いのでは。例えば、中央公民館のホールに、イベントや公民館活動の写真、役場からのお知らせまで掲示する「情報ボード」の設置はどうか。

答弁 広報紙に載らなかった情報なども提供できる場として、設置場所も含めて今後検討していく。

冬季間の交通弱者対策は

(町長) 安全運行と利便性の向上に努める



渡邊 裕二

質問 町で運営しているコミュニティバスの停留所。冬季間のバス停周りの除雪状況を運営管理者として把握しているか。把握しているとすればどのような対策を取っているか。

答弁 通常の冬季間においてはバス停付近の除雪状況などの確認作業は実施していない。豪雪などで積雪量が多いときは、町職員が運行コースを巡回するなどして路線やバス停付近の状況を確認し、必要な対策を行うようにしている。

間に雪の壁が残る。その中にコミュニティバスの停留所が埋もれている。バスを利用する人は、雪の壁を回り込み車道側に立ち、車がたくさん通るギリギリでバスを待っている状態。



危険な車道でバスを待つ

質問 そのような内容の発言は出ていないか。

答弁 そのような内容の発言は出ていない。

況だ。「やまのベコミュニティバス懇話会」で、冬季間の利用についてそのような話が出ていないのか。



雪に埋もれたバス停

質問 道路なので道路管理者ではあるが、バス停の利用に関しては町民生活課の対応になると考える。

答弁 消防施設周りなどは地域の皆さまの危機意識から消防団の方や地域の方々の協力で除雪されているようだ。

質問 『町でも巡回し、必要な対応をしているが、地域の皆さまや利用する方も気づいたときに除雪の協力をお願いしたい』などと町民みんなに呼びかけ、地域みんなで交通弱者を守る町になっていければと思うが。

答弁 広報について検討していく。できる限り利用者の声をお聞きし、最大限反映をして安全な運行に努めていく。

環境問題

STOP 温暖化の方策は 2030～2050年まで見据えて

(町長) 今後も省エネルギー対策を推進し、クールビズ、ウオームビズなどを継続していく



質問席

伊藤 恭子

質問 国は大規模な農地の集積で現状を維持しようと考えている。当町でも条件のいい農地であれば実現可能と思われるが、中山間地など集積条件を整わない農地とこれを耕作する小規模農家をどうしていくのか。

質問 地域温暖化対策協議会などと連携した、地域における防止活動の促進は。

質問 地域温暖化対策協議会などと連携した、地域における防止活動の促進は。

質問 地域温暖化対策協議会などと連携した、地域における防止活動の促進は。

質問 教育委員会と連携した子どもたちへの意識の醸成は。

質問 教育委員会と連携した子どもたちへの意識の醸成は。

質問 小・中学校の授業において上下水道、電気、ごみ処理エネルギー再利用や調査活動を行い、解決方法を検討したり、空気水、生物関連の中で、人間が環境に影響を与

質問 子どもたちの環境への取り組み

質問 子どもたちの環境への取り組み

質問 クールチョイス(消費者の賢い選択)で未来へとつなぐ、ごみの減量と対策の進捗状況は。

質問 クールチョイス(消費者の賢い選択)で未来へとつなぐ、ごみの減量と対策の進捗状況は。



児童・生徒が環境について学んでいる教科書

質問 4つのRの現状や今後の取り組み状況は。

質問 4つのRの現状や今後の取り組み状況は。

質問 4つのRの現状や今後の取り組み状況は。

農業・環境

小規模農家の生き残りは 可能なのか

(町長) 集落営農やブランド化に向け関係団体や農家の方々と話し合う



渡辺 知広

質問 集落営農とは売り先が自由にできるか国が買うかの違いで、旧ソ連がやったソフホーズそのもので

質問 集落営農とは売り先が自由にできるか国が買うかの違いで、旧ソ連がやったソフホーズそのもので

質問 集落営農とは売り先が自由にできるか国が買うかの違いで、旧ソ連がやったソフホーズそのもので

質問 集落営農とは売り先が自由にできるか国が買うかの違いで、旧ソ連がやったソフホーズそのもので



この風景も放棄すれば5年で原野に

質問 耕作放棄地や町道、学校校庭、公園管理などで使われているグリホサート主成分の安全性が問題視されているが、今後どのように活用していくのか。

質問 耕作放棄地や町道、学校校庭、公園管理などで使われているグリホサート主成分の安全性が問題視されているが、今後どのように活用していくのか。

質問 耕作放棄地や町道、学校校庭、公園管理などで使われているグリホサート主成分の安全性が問題視されているが、今後どのように活用していくのか。

質問 2015年に国際がん研究機関では「人に対して恐らく発がん性がある」としているが、2016年の国連食糧農業機関と世界保健機関の合同会議では「発がん性を有する可能性は低い」としている。日本の内閣府の食品安全委員会でも「発がん性は認められなかった」と結論づけている。しかし、一方で問題視されている以上、使用に関しては健康被害がでないよう遵守事項を徹底する。

質問 2015年に国際がん研究機関では「人に対して恐らく発がん性がある」としているが、2016年の国連食糧農業機関と世界保健機関の合同会議では「発がん性を有する可能性は低い」としている。日本の内閣府の食品安全委員会でも「発がん性は認められなかった」と結論づけている。しかし、一方で問題視されている以上、使用に関しては健康被害がでないよう遵守事項を徹底する。

質問 2015年に国際がん研究機関では「人に対して恐らく発がん性がある」としているが、2016年の国連食糧農業機関と世界保健機関の合同会議では「発がん性を有する可能性は低い」としている。日本の内閣府の食品安全委員会でも「発がん性は認められなかった」と結論づけている。しかし、一方で問題視されている以上、使用に関しては健康被害がでないよう遵守事項を徹底する。



特許、期限切れ 100円台から購入できる

質問 アメリカの Monsanto社が作った世紀の大発明。しか

質問 アメリカの Monsanto社が作った世紀の大発明。しか

質問 アメリカの Monsanto社が作った世紀の大発明。しか

質問 子どもたちの安全を最優先し、学校や公園に関しては代替薬の使用を含め検討する。

質問 子どもたちの安全を最優先し、学校や公園に関しては代替薬の使用を含め検討する。

質問 子どもたちの安全を最優先し、学校や公園に関しては代替薬の使用を含め検討する。

地域活動

ブロック協議会活動の評価と期待は『互近助』のパワー育成と集約を

(町長)「互近助」という安全の仕組みを作ることは非常に重要



武田啓一郎

質問 これまでのブロック協議会の事業活動から、事業評価として、どのような成果と課題点、今後の課題や取り組みの方向性が見えてきているのか。

答弁 地域コミュニティ活動に育まれた、町民と行政によるパートナーシップに基づく協働のまちづくりを大きな柱として推進し、平成27年度には、全10のブロック協議会が組織され、地区公民館などを核とした地域コミュニティ活動の取り組みが行われるよう支援している。事業補助金などを活用し、交流会やクリーン活動などさまざまな事業を実施している。地域のくくりをブロックエリアととらえ、防

災活動などの取り組みも、すでに行われているところもある。今年度からは、地域からの町に対する意見や要望なども、ブロックエリアで取りまとめを行うようお願いし、地域課題の解決に向けて地域と行政をつなぐ役割となっている。現在は、従来の地域自治的な活動の枠を超



ブロック協議会と連動した防災活動の広がりが望まれつつある(大寺地区防災訓練)

え、住民が主体的に地域課題や問題解決に取り組む、地域の特色や個性を活かした交流活動などが展開されていると感じている。事業補助金の趣旨に沿った活動が行われていると思うが、中には参加者が少なく、ブロック協議会の目指す理念が浸透していないなどといった課題もあるようだ。

質問 スーパーウルトラ高齢化社会に突入している。先行き安心して暮らしていく願いを叶えてくれるのは、究極的には『互近助』お互いに近いところで助け合う確かなコミュニティ、協働のまちづくりだと考える。大規模災害非常時活動につながるゆけ、互近助パワーなどを推奨支援していくシステムを考案展開していければ、新たな住民の動きが期待されるのではないかと。

答弁 向こう三軒両隣で助け合う「互近助」という安全の仕組みを作ることは、非常に重要なこと。特に防災活動では、顔の見える近くにいる人が、近くの人を助ける「近助」につながる。万が一災害が発生した場合、地域の元気な高齢者の方々にもボランティアなどで活躍協力していただき、相互扶助の一翼を担っていただきたい。今後は、大規模災害時の課題として認識し、ブロック協議会と自主防災組織が連動した取り組みができるよう、自主防災会連絡協議会を通して提案していく。



地域の人たちが集うイベント 互近助パワーを育んでいく(大寺さくらまつり)

一般質問

総合計画

山辺町の10年後のビジョンとシナリオへの取り組みは

(町長) 基本理念のもと事業を推進し、その見詰め直しと改善を図っていききたい。



安達 春彦

質問 平成19年に第4次山辺町総合計画が策定され、現在は新たな10年を描いた第5次総合計画が運用されているが、第4次総合計画の事業のどのような振り返りを行ったのか。

答弁 町民アンケート1480人分と職員アンケートを分析し、事業の達成度などをまとめ提出した。まとめた中には、インターネットの高速通信環境、安心して医療を受けられる体制などがある。その評価の上での振興審議会による議論を行った。その他、進行政管理3カ年実施計画において定期的な事業見直しを行い、振り返りを行った。



みんながつながる協働のまちを!

質問 これからの10年後のビジョンと注力する課題を「住環境整備」の観点からどのように考えているか。

答弁 計画着工となっていた現緑ヶ丘地区は、新たな定住人口増加に結びついている。一方で、将来の土地利用の検討を進めたが、法律に基づく規制の条件を満たすことが難しいため、その確立

質問 町の財政収入の改善の観点ではどのように考えているか。

答弁 町税収入が9年で約1250万円減少し、地方交付税等の依存財源が66・9%とその割合が大きく占める状況にある。社会保障費が今後右肩上がりになることが予想されている。

質問 税金を納めているため、町民に相応のサービスを返していくことが重要。しかし財源に限りがある以上、やること、やらないことも決断が必要になると考えているが、今後はどのような方針でいるのか。

答弁 住民の幸せを確保するためには財源確保、同時に基金の確保に取り組んでいかなければならない。今後は、山形連携中枢都市圏構想や山形広域環境事務組合などの連携強化で広域的な行政

質問 山辺町の魅力発信・獲得の観点ではどのように考えているか。

答弁 「舞米豚」や「ニット製品」などの地場商品、産業を通じてさまざまな企画が実施されてきた。この4次総合計画での取り組みの有効性を鑑み、今後はSNSなどさまざまな発信媒体を活用し、官民共同で取り組んでいく。



行動&改善の繰り返しで着実に10年後の良い未来へ

新しい町への挑戦

半郷清掃工場は解体・撤去へ

広域環境事務組合



今年度中に解体される半郷清掃工場

議会定例会が2月12日開催され、30年度補正予算、31年度予算、また、山形広域クリーンセンターの改修に係る経費分担と、半郷清掃工場の解体・撤去に要する経費の分担について審議し、全員一致で可決しました。半郷清掃工場は31年度から解体・撤去を行います。土壌調査は山形市が負担することを確認しました。また、上山市のバイオマス工場爆発に関する住民の不安に対しては、同じガス化溶融炉であるが、可燃性ガスを貯蔵しない工程なので安全であるとの説明を受けました。

災害時における議員の役割とは

総務文教常任委員会



東京での災害研修（平成31年2月）

大規模災害が起きた時、議員はどう動けば良いのか。行動指針を策定する必要性があるとして、3月7日委員会を開催し、東京でのセミナーを受講した武田委員長、渡邊裕二副委員長より報告を受けました。「災害は起きる前から想定する。まず自助が大切。その次に家族。自分が無事であれば隣人を助けられない。その上で議員は地域での支援活動をするが、個別の要請は避け地域の情報を議会に集約。地域と議会・役場との橋渡しをする。」などの内容を聞き、今後山辺町議会として、大規模災害の行動指針策定や対策会議の設置要綱策定に向けて取り組んでいきます。

効率的かつ安定的な農業経営体の育成・支援

厚生産業常任委員会



農業委員との意見交換会の様子

1月17日に役場で農業委員と厚生産業常任委員との意見交換会が開催されました。特に、昨今の農業・農村を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化と大規模化の課題、後継者・担い手不足、農畜産物の価格の低迷、異常気象、有害鳥獣被害をはじめ、放任園地・不耕作地の拡大と食料自給率の低下などさまざまな問題に直面しています。農業委員会では、それら課題解決のため、町に対し要望書を提出するなどの活動を展開していますが、厚生産業常任委員会としても町の農業の現状を認識し、将来にわたって農業を継続していくための農用地の維持・保全、小・中規模農家の離農の歯止め策、意欲ある経営体への利用集積と団地化の推進、農道の施設整備や加工施設、の設置など、町に即した農業振興に向け活発な意見の交換が行われました。

自治功労者4名表彰



- ・ 齊藤 昭彦 議員
- ・ 樋口 和男 議員
- ・ 本田四志子 議員
- ・ 渡辺 知広 議員

(写真右より)

4名の方々が永年の地方自治の振興発展に寄与された功績をたたえ、山形県町村議会議長会より表彰されました。

おじゃまします! 出前議会

まちづくりについて議員と話してみませんか。

いろんなアイデアやご意見、お聞かせください。地域の集まり・子ども会育成会・会社・グループなどの少ない人数でもご指定いただいた会場にこちらから伺います。ぜひお申し込みください。

お問い合わせ お申し込み 議会事務局 ☎023-667-1117 ★お近くの議員までお気軽にお話しください

希望日は
ご相談ください

イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 日本一さくらんぼ祭り～すこだまつながる山形～	文翔館前、七日町大通り	6月22日(土)～23日(日)	ダンスやお神輿、さくらんぼマルシェなど、最盛期の「さくらんぼ」にちなんだ祭りです	日本一さくらんぼ祭り実行委員会 TEL. 023-630-2373
上山市 やまがたワインバル2019inかみのやま温泉	上山城周辺	6月8日(土)	県内外のワイナリーが一堂に会する大イベント。心地よい香りと豊かな味わいが自慢の「かみのやまワイン」やワインに合う様々なフードをお楽しみいただけます	上山市観光物産協会 TEL. 023-672-0839
中山町 第29回全国かぶと虫相撲大会	中山町総合体育館	7月15日(月・祝日)	相撲大会、木のぼりレース、スタンプラリー、ゆるキャラ®大集合、出店など	中山町観光協会 TEL. 023-662-5777